

病害虫発生予察情報

8月月報

平成30年9月25日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2018年 8月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	33.5	1.7	24.3	1.2	28.4	1.5	50.5	104	69.5	117
中旬	31.1	-0.3	22.3	-0.7	26.3	-0.3	43.5	71	71.0	125
下旬	33.5	2.6	24.8	2.3	28.5	2.4	32.5	41	81.3	138
平均	32.7	1.3	23.8	0.9	27.8	1.3				
合計							126.5	67	221.8	127

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上旬は高く、中旬は平年並、下旬はかなり高かった。
- ◎ 降 水 量：上・中・下旬ともに平年並であった。
- ◎ 日照時間：上旬は平年並、中・下旬は多かった。

上旬：前半は高気圧に覆われ晴れて気温の高い日が続いたが、後半は前線や台風第13号の影響で曇りや雨の日が多くなった。

中旬：高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあった。期間の中頃にかけては南から暖かい空気が流れ込んだため、気温が高くなったが、期間の終わりは北にある高気圧から冷たい空気が流れ込んだため、気温が低くなった。

下旬：高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、台風第20号や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあった。暖かい空気に覆われることが多く、気温は高くなった。特に27日は前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、雷を伴って大雨となったところがあった。

2 作物生育概況

(1) イネ

生育は順調で、出穂は4日程度早い傾向であった。

(2) 野菜類

果菜類：ナスはおおむね順調な生育であったが、一部地域ではつやなし果が多く見られた。促成トマトの定植が行われたが、高温の影響で苗の葉焼けが見られた。

葉根菜類：キャベツ・ブロッコリーの定植後の生育はおおむね順調であった。ニンジン乾燥による発芽の不揃いや、生育のバラツキ、豪雨による種子等の流亡が見られた。施設のコマツナは高温による新葉の焼けが見られた。

イモ類 : サトイモは乾燥の影響により、草丈は例年より低い状況であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：収穫始めは、‘高尾’で6日早くなった。

‘高尾’収穫始 8月17日（-6日）

ナシ：収穫始めは、‘幸水’と‘稲城’で2～3日早く、‘秀玉’で12日早くなった。

‘幸水’収穫始 8月13日（-3日）

‘稲城’収穫始 8月22日（-2日）

‘秀玉’収穫始 8月15日（-12日）

(4) 茶樹

7月から雨が少なく摘採・剪定後の新梢の伸長等生育への影響が懸念されたが、8月の降雨により生育状況は回復傾向にある。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
シンガレセンチュウ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。

サトイモ

ワタアブラムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラヤガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハイマダラノメイガ	< 多 >	発生は多かった。
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

モンクロシャチホコ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-----------	---------	-------------

(7) 島しょの病害虫

大島：オクラ及びパプリカでワタノメイガの発生が多かった。また、ミノムシ類の発生が多かった。

八丈島：オクラで葉すす病及びワタアブラムシの発生が多かった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	8月9日	9月11日	0	0
大田市場	8月9日	9月11日	0	0
板橋市場	8月9日	9月11日	0	0
淀橋市場	8月9日	9月11日	0	0
北足立青果市場	8月9日	9月11日	0	0
青梅青果市場	8月13日	9月7日	0	0
八王子北野市場	8月13日	9月7日	0	0
多摩ニュータウン市場	8月13日	9月7日	0	0
国立市場	8月10日	9月7日	0	0
東久留米市場	8月10日	9月4日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、北足立青果市場で1頭、多摩ニュータウン市場で1頭、東久留米市場で2頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。